



～ がん女性の心をつなぐ輪、拡大中 ～

完治・克服ではなく、**がんと共に生きる時代。サバイバー女性の想いと経験を共有するSNS『Peer Ring』** リリース2か月で会員100名越え！！

株式会社リサ・サーナ(本社：横浜市青葉区、代表取締役：上田暢子)が本年7月より運用中の、女性特有がんのサバイバーを対象としたSNS『Peer Ring』の利用者が拡大しています。

乳がん・子宮がん・卵巣がんなど、女性特有のがんに直面する方は、脱毛、乳房全摘、パートナーとの関係…といった、デリケートな問題から、仕事や生き方など人生の根幹に関わる事まで、「話したい、けど話せない」悩みを抱える方がほとんどです。『Peer Ring』は、そんな女性達が「同じ病気、似た状況」にある仲間とコミュニケーションできるピア・コミュニティ。

7月1日の公式リリースより2か月半で登録会員110名、非会員含むユーザーは3,300名、PVは47,000を超えました。がんと共に生きる人が寄り添い、ささえ合う場がうまれています。

<https://peer-ring.com/>



ピアリング『Peer Ring』のスマートフォンアプリは9月末リリース予定。

■ 『Peer Ring』サービス提供開始の背景

近年、増加傾向にある、乳がん・子宮がん・卵巣がん。女性特有の器官がダメージを受けるこれらの病気に罹った女性たちは、友人・同僚、時には家族にさえも、つらさを隠して闘病している方が大多数です。

『Peer Ring』サービスを立ち上げた上田は2015年末に乳がん告知を受けました。手術を終えた後も続く長い治療期間、再発の不安に対しはげまし合える仲間の必要性を痛感。しかし、仕事や家事・育児または地理的な理由から、がん患者会などに参加する女性は罹患者数に対して圧倒的に少数なことに気づきました。そこで、時間・場所が限定された集いに参加することが難しい女性が、いつでもどこにいても仲間とつながり支え合う場が必要、と『Peer Ring』の開発をスタート。一方、妊娠中に進行性乳がんにかかるといふまれな状況に直面した彩田。情報が少なく治療可能な医療機関探しに苦労した経験から、サバイバー同士の情報共有の必要性を訴えて『Peer Ring』のサービス普及に奔走しています。



▶Peer Ringの開発・運営を担う上田暢子(後)と彩田ゆう子(手前)

■女性特有のがん、2029年まで増加

※女性の特有のがん 2016年新規罹患患者数予測（年間で新たに「がん」と診断される人）

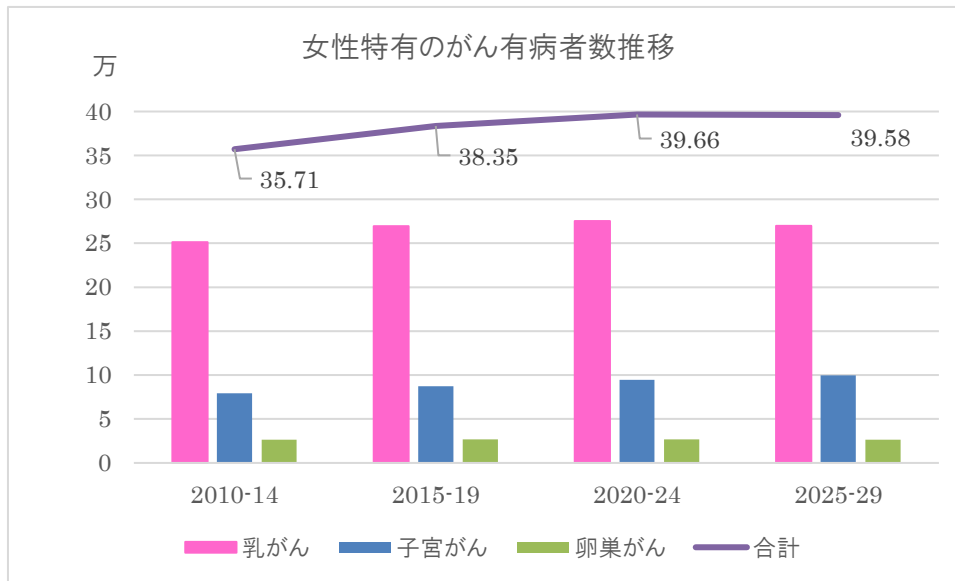
乳がん 90,000 子宮がん 30,200 卵巣がん 10,300 計 130,500人

※有病数将来推計値

乳がん・卵巣がんは2024年まで、子宮がんは2029年まで有病者が増加する見込み。

2025-2029年の乳・子宮・卵巣がんの有病者数の推計値は合計で 395,800人

出典：国立がん研究センターがん対策情報センター



■会員制無料SNS『Peer Ring』・特長

1. サバイバーであるファシリテータが、会員間コミュニケーションをサポート。

誰もが受け入れられる温かい雰囲気づくりで、ネットでも安心して、仲間とつながれる場です。

2. #ハッシュタグで探す、つながる、検索機能

詳細な病歴・個人情報の入力などのストレスを排しつつ、自分と似た状況の人と“キーワード”でつながることができます。

3. 簡単、直感操作

30代～50代まで、幅広い年齢層が、直感的に使えるシンプルなUIを採用しています。

■Peer Ringサービス概要

女性特有のがんに直面する方が、想いと経験を共有するピア・サポートSNS

□サービス名称：『Peer Ring』ピアリング

□公式リリース日：2017年7月1日

□サービスURL：<https://peer-ring.com/>

□サービス利用料：無料

■会社概要

商号：株式会社リサ・サーナ

代表者：代表取締役 上田 暢子

所在地：〒225-0002 横浜市青葉区美しが丘
1-13-10 吉村ビル107

設立：2017年8月

事業内容：インターネットサイトの企画・運営

URL：<https://risa-sana.co/>

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社 リサ・サーナ

担当者名：上田

TEL：080-3573-0414

Email：info@peer-ring.com